



おにぎり通信

2012年1月7日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました。

今年も四ツ谷おにぎり仲間をどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年とは東北地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災が発生し、多くの尊い生命が失われました。

震災で身近な人を亡くした被災者の話を聞くと、とても悲しい気持ちになります。

年初にあたり、みなさんの今年1年の無事と平安をお祈りします。

☆12月26日 福祉行動報告

どなたも参加されませんでした。

次回の福祉行動: 1月10日(火)

朝8時30分までに東京駅丸の内北口に集合です。(東京駅丸の内北口と書いてある看板の下、丸の内警察署東京駅交番近く『びゅうプラザ前』の付近でお待ちください。)

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所...千代田区九段南 1-2-1 3階

<お正月とは？>

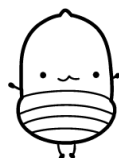
お正月は、日本の年中行事の中でもっとも古くから存在するものと言われています。1月1日から3日までを「三が日」、7日までを「松の内」と呼び、この期間をお正月と言います。

もともとお盆と同じように先祖をお祀りする行事だったようですが、仏教が伝来してから、お盆は仏教行事と融合して先祖供養の行事となり、お正月は歳神様を迎えて作物の豊穰を祈る行事になったと考えられています。

歳神様は子孫の繁栄を見守るご先祖さまのことです。ご先祖さまは春になると「田の神」になり、秋が終わると「山の神」になり、お正月になると「歳神」になって子孫を見守ってくれているというわけです。

江戸時代になると、お正月には門松やしめ飾り、鏡餅をつくり、歳神様をお迎えするという風習が生まれたといえます。

身近な人が亡くなるのは、とても寂しいことです。亡くなった人たちが歳神様になって私たちを見守ってくれていると思うと、少し温かな気持ちになりました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなど片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。(多くの方に召しあがっていただくためです。)

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)